

本研究会における議論

1. 前提

- (1) 現行の予算・決算制度を前提に、財務書類（財務諸表）は現行制度を補完する参考資料として、財務報告におけるあるべき会計基準のあり方について議論を進める。
- (2) 「一般会計等」を対象に議論を進める。

2. 論点項目案

- (1) 総括的な事項
 - 企業会計との関係
 - 議論の範囲・程度
 - 財務業績
 - 行政コスト計算書の作成意義
 - 純資産変動計算書の作成意義
 - 財源仕訳の必要性及び仕訳方法
- (2) 個別的な事項
 - ① 会計基準の前段階の事項
 - 固定資産台帳の整備
 - 複式簿記の導入
 - ② 会計基準に係る事項
 - 有形固定資産の評価基準の取扱い
 - 税収の取扱い
 - 補助金収入の取扱い
 - 減価償却の取扱い
- (3) 上記以外の事項
 - 基準設定主体
 - 地方団体の規模の違い
 - 地方団体の連結財務諸表の取扱い
 - 国と地方の連結の取扱い
 - 出納整理期間の取扱い
 - 地方公営企業法の財務規定の適用範囲拡大との関係
 - 作成・公表時期
 - システム構築・メンテナンスコスト
 - 財務書類作成・運用上の課題

3. 今後の議論に関して

- (1) 全体的なスケジュール、ロードマップ
- (2) 外部ヒアリングの必要性